

厚生労働省 委託事業

在宅医療連携拠点事業

～ 一步前へ ～

平成25年3月23日

徳島市医師会

在宅医療支援センター

豊田健二

徳島市医師会における 「在宅医療における整備目標」

将来、徳島において、

1. 急性期医療を崩壊させない！

2. 在宅難民を出さない！

徳島市地域包括支援センター 特 徴

- ・ 行政(徳島市)から徳島市医師会に事業委託。
(平成18年)
 - ・ 徳島市内に唯一。
 - ・ 徳島市医師会が運営。
→徳島市の介護と医療の分野が1ヶ所で調整。
- 

在宅医療連携拠点事業

活動状況



必須：多職種連携会議

徳島市内を3圏域（北部・西部・南部）に分割し、それぞれで会議を実施。

①事前アンケート

1. 多職種連携の課題、阻害要因は何か？
2. 連携をする際に、他の職種に望むものは何か？

②連携会議 1

「解決策」「他職種から望まれていること」をそれぞれの職種に還元し、実践を依頼。

③連携会議 2：平成25年3月15日予定

実践してみてわかった、新しい課題と解決策について検討。

役割を活かした多職種連携会議



在宅医
ケアマネ
薬剤師
歯科医
3プラス



総多職種連携

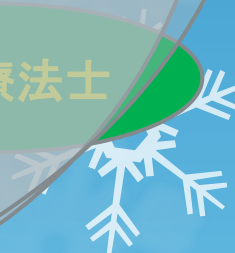
訪問看護師
在宅医・訪問看護師に伝
える手法を学ぶ。

在宅医・訪問看護師に伝
える手法を学ぶ。

在宅医・訪問看護師に伝
える手法を学ぶ。

理学療法士

その他



医療機能連携会議 (在宅医を中心として)



急性期病院・一般病院・
ホスピス

行政

在宅医療連携会議

・徳島市

急性期病院・一般病院・ホスピス

目的：自宅療養を希望する

在宅医療
ネットワーク

在宅医療
ネットワーク

後方支援病院
ネットワーク
(20)
連携会議

連携訪問看護ステーション
(14)

連携会議
ステーション(14)

後方支援病院
ネットワーク
(BBN)
20医療機関

行政との連携 「徳島安心タッグ」

徳島市 と 徳島市医師会

共通理念のもと、市民が安心して
在宅で過ごせる体制を作る。

年 4 回 会議

2. 在宅医療従事者の負担軽減の支援



①

徳島市内全域のケアマネタイム

対象：在宅医・訪問看護ST・
歯科医・病院スタッフ

しほい、仕事をシェアできる環境を作る。

4つの在宅療養支援診療所。
強化型モデルとして移行準備中。

3. 在宅医療に関する地域住民への普及啓発



市民公開講座

目的：徳島市民に対する在宅医療への理解と協力依頼

呼び掛け：

- ・ 病状が軽いうちは、できるだけ「住み慣れた家で過ごす」という地域の雰囲気作り。
- ・ 限られた医療資源(入院ベッド、介護施設等)をシェアしよう。



4. 在宅医療に従事する人材育成

在宅緩和ケア研修会（年4回）

目的：在宅医の質の向上と均てん化。

- ・徳島がん対策センター監修

講師・研修構成は徳島がん対策センターで。
がん診療連携拠点病院が求める在宅医へ。

がん拠点病院医師と在宅医の信頼関係の構築

ご清聴 ありがとうございました。